

下石

-OROSHI-

下石町の窯業は平安時代に始まりました。室町時代には仏具が作られ、桃山時代には芸術性豊かな志野、黄瀬戸、織部等の茶陶が焼かれました。

高度成長期にはとっくりの生産が盛んになり、現在、下石には80軒以上の窯元があります。



山淳製陶所
伊藤 富章 さん
製陶所のみなさん
お話を聞かせてくれたのは
土岐市下石町 304-135
☎6807
https://yamajun-seito.jimdo.com

下石の窯元 山淳製陶所さんに聞いてみました!

とっくりの生産が盛んだった下石町。いまはどんな様子なのかな？

Q いまもとっくりを作っているの？
山淳製陶所さんのことを教えてください！
現在は主にとっくりとすし湯呑みを作っています。
初代は主に碓子の製造で、2代目になるころからとっくりの生産を始めました。3代目の現社長が熱燗を手軽に楽しめる、酒燗器を15年ほど前に開発し、今も人気です。

Q なぜ下石でとっくりを多く作っていたの？
昔はとっくりのような立ち物を作るとき、鑄込み(型)を使う技法ではなく、手ロクロで作っていたため、コシのある土でないといけないものができませんでした。下石ではとっくりに適した良質な土が採れたため、生産が盛んになったと聞いています。
酒屋が自社の印を入れたとっくりを作ったり、冠婚葬祭を各家庭で行っていたので、多くの需要がありました。

外国からの観光客にタヌキが人気なんだって！デザインのモデルは、なんと社長さん!!

下石町内にはとっくりになんだ施設やオブジェなどもたくさんあるぞ。



博志の研究所

やきもの生産 土岐市は 日本一

私たちのまち・土岐市はやきものまちです。『みのやき博士』『みのやき志野ちゃん』と一緒にやきもの知識を学んでいこうよ。

美濃焼振興室
(☎8312)

市長の部屋から 10月21日(日)

今年で44回目となる「健康を守る市民の集い」がセラトピア土岐で開催されました。各種測定コーナーが人気を集めたほか、「笑顔と癒しのフォトコンテスト」なども開催され、訪れた多くの市民らでにぎわいを見せました。



最近では食べ物や医療などに関するテレビ番組も多く、皆さんの健康への意識は非常に高いと感じます。
私もこの食べ物が体に良いと聞けば、それを試すなど健康のために取り組んだ経験がありますが、健康は決して一日で手に入るものではありません。日頃から自分の健康について意識し、“自分の健康は自分で守る”ことが大切であると感じました。



今後も、市民の皆さんが自身の健康に興味を持っていただき、自己管理の大切さを認識していただけますよう、このような行事を通じて周知・啓発を進めてまいりたいと思います。

土岐市長 加藤靖也